

気管支喘息について No7



話題の新薬 アイセントレス錠 600mg

β2 刺激薬

強力な気管支拡張作用がある。短時間作用型と長時間作用型の2種類がある。吸入ステロイド薬との併用が必要であり、吸入薬は吸入ステロイド薬との併用による相乗効果が知られている。

① 短時間作用型(SABA)

すぐに効果を表して喘息発作を改善する

薬剤名:サルタノールインヘラー100μg

ベネトリン吸入液 0.5%・錠 2mg

シロップ 0.04%

ブリカニール錠 2mg・皮下注 0.2mg

メプチン錠 50ug・ミニ錠 25ug・シロップ

吸入液 0.01%・

キッドエア-5μg・エア-10μg

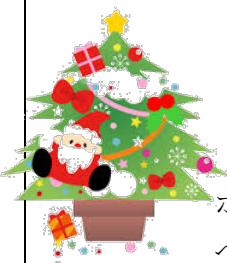
スイングヘラー10μg

ドライシロップ 0.005%・顆粒 0.01%

ホクナリン錠 1mg・DS 小児用 0.1%

ベロテック錠 2.5mg・エロゾル 100

スピロペント錠 10μg・顆粒 0.002%



② 長時間作用型(LABA)

喘息発作が起こらないように、長期間に渡って薬を使用していく

薬剤名:オーキシス 9μg タービュヘイラー

オンブレス吸入用カプセル 150μg

セレベント 25・50 ロタディスク

50 ディスク

ホクナリンテープ 0.5・1・2mg

<吸入薬のメリット>

直接気管支に薬を投与することができるため、経口薬より素早く効果が表れます。吸入薬にすることで薬の量を1/20などに減らすことができます。用量を減らしながら、副作用(振戦、動悸、頻脈等)を軽減することが可能です。

HIVインテグラーゼ阻害薬

MSDは、HIVインテグラーゼ阻害薬「アイセントレス錠 600mg」を発売した。2008年7月より、1日2回投与の400mg錠が発売されている。アイセントレスは、抗HIV治療ガイドラインにおいて、初回治療の多剤併用療法に用いられるHIVインテグラーゼ阻害薬の一つとして推奨されている。通常、成人にはラルテグラビルとして1,200mg(本剤を2錠)を1日1回経口投与する。本剤は、食事の有無にかかわらず投与できる。本剤の開発により、アイセントレスを用いた1日1回投与での治療が可能となり、患者さんの服用負担の軽減が期待できる

薬価 600mg 1錠=1553.60円

副作用情報 ザファテック錠

武田薬品から販売されている糖尿病治療剤の「ザファテック錠 50・100mg」は、直近2年8か月の副作用報告であって、因果関係が否定できない副作用として、「類天疱瘡」が7例(うち死亡0例)報告された。そのため重大な副作用の項に「類天疱瘡」が追記された。

軽い運動で記憶力アップ

わずか10分間の軽い運動で記憶をつかさどる脳の海馬が刺激され、直後の記憶力が高まることを明らかにしたと、筑波大の研究チームが米科学誌に発表した。征矢英昭(そや・ひであき)教授は「ヨガや太極拳といった手軽な運動で効果を得られる。認知症などの患者や高齢者、子どもの記憶能力維持や改善に役立てたい」と話す。運動直後の脳の透視画像では、画像の細かい違いなど似ているようで異なる記憶を区別する「海馬歯状回」周辺が特に活発になり、頻繁に情報のやりとりをしていた。征矢教授は「動物実験では軽い運動が記憶に良いと分かっていたが、人でも証明できた」と話している。

